

令和 8 年度 浦添市上下水道料金等審議会(第 1 回) 議事要旨

場 所	浦添市役所 4 階 企画調整会議室			
日 時	令和 8 年 7 月 2 日（木） 14：00 ～ 16：30			
提示資料	会次第、座席表、委員名簿、審議会規程、概要説明資料他			
出 席 者（出席数 5 人、欠席数 1 人）				
委 員	平敷 徹男（会長）	○	照屋 冴子	○
	秋田 繁一（副会長）	○	平良 秀樹	×
	又吉 隆	○	譜久原 みどり	○
事 務 局	上下水道部長、経営企画課長、水道総務課長、営業課長、工務課長、 工務課技幹、経営企画課職員			

議 事
1. 審議会の公開・非公開について 2. 水道事業及び下水道事業の概要説明 3. 経営戦略フォローアップの説明

【議事に対する質疑応答及び意見の概要】

[事務局] 議事の説明 1 審議会の公開・非公開について
[会長] ・経営企画課長から事務局案が説明されたが、その案通りでよろしければ拍手を持って合意をお願いしたい。 (拍手)
[会長] ・会議そのものは非公開、議事録については個人が特定されぬような形でホームページ等での公開とする。
[事務局] 議事の説明 2 水道事業・下水道事業の概要説明
[委員] ・水道事業について資料 6-1 の「水道水が家庭に届くまで」の浄水場の件だが、現在建築中のクリーンセンターの熱量を使って海水を淡水化にするという計画はあるのか。
[事務局] ・市で淡水化施設や浄水施設を持つことは現在検討していない。所有すると費用がかさむ為、検討するにあたっては様々な知見などを得ながら進めていくことになる。
[委員] ・水道事業の財政運営の状況について、資本的収入の中に「投資」があるが具体的にどのような投資による収入があったのか。
[事務局] ・令和3～5年度の金額が大きくなっている。理由は水道部庁舎・沢岬配水池・浦仲配水池が建物更生共済に入っており、その時に投資した金額が共済期間満期の為戻ってきたことによる。
事務局：議事の説明 3 経営戦略フォローアップの説明（水道事業）
[委員] ・配水量と給水量の違いは何か。
[事務局] ・配水量は県企業局から購入した水量。給水量は配水量のうち漏水などが一部あり、お金に換算できない部分を差し引いたもの。
[委員] ・有収水量とあるが、給水量というのはそれにあたるのか。

[事務局]	・はい。家庭に配られた分である。
[委員]	・配水量と給水量の差というのは漏水その他で消えてしまっており、差が大きいと無駄も大きいということか。
[事務局]	・その通りです。
[委員]	・4頁のグラフで人口推移があるが、給水量はずっと下降線で人口は横ばいである。これは人口当たりの使用量が減っているということか。節水などあると思うが、この要因は何か。
[事務局]	・大口使用者の水の使用が減っており、大きなものだと基地の水量がだいぶ落ちてきている。
[委員]	・人口は変わらないが収入そのものが減ってくるということか。今のところ、それが続いているのか。
[事務局]	・はい。
[委員]	・17頁の管路更新化率について、更新化率の数値が2.5%だと全ての管路が更新されるのに40年、0.4%だと200年かかるとあるが、この計算式だと0.4%では250年かからないか。0.5%で200年ではないか。
[事務局]	・はい。申し訳ありません。250年です。
[委員]	・10頁の方で人件費が令和5年度～6年度でだいぶ増加している。職員は3名しか増えていないがなぜか。
※事務局注（審議会終了後、配布資料の一部に数値の誤りがあることが判明した為、次の審議会にて修正した資料を改めて配布・報告することとなった。）	
事務局：議事の説明	
3 経営戦略フォローアップの説明（下水道事業）	
[委員]	・水洗化率が95%で推移していて横ばい状況である。100%の方が望ましいという話もあるが、水洗化を促進する為の活動はしているか。率が伸びない理由としてはコスト面もあるのではないか。
[事務局]	・水洗化にしていない方は浄化槽を使っている。浄化槽を切り替えるのはコストがかかるので、故障や建物建替のタイミングなどで水洗化にしている状況。

[委員]	・資金の貸付などもあるか。
[事務局]	・はい。相談があれば。
[委員]	・市民からすると借り入れてまでやるほどのメリットが感じられないということか。
[事務局]	・個人で繋いで頂くので個人の都合によるところが大きい。
[委員]	・他市町村に比べると水洗化率は高い方だと思う。補助金や貸付があってもなかなか進まないと聞いたことがあるので優秀な方である。
[委員]	・水道の給水原価や下水道の処理原価で明確な数値基準がないということもあり、効率化などを進めたいという話もあったかと思うが、値上げをする際に真っ先に言われるのが行政側で工夫をしているかということだ。原価に関しては削減する努力をした上での値上げなのか、行政側の努力を目に見える形で見せてほしいということが出てくる。何かの形で効率化や努力をしているという表現ができないかと思う。
[委員]	・11 頁の汚水処理原価だが令和 5 年度は 94.05%、令和 6 年度では 89.66%に下がり、令和 7 年度では 95.54%と上がっている。原因は何か。
[事務局]	・委託料の影響が毎回大きいと思われるが、詳細については次回報告でよろしいか。
[委員]	・はい。
[委員]	・県の負担金単価 8 円の値上げは大きい。細かい説明がないと市民から指摘があると思う。周囲の人に伝えられるよう細かくわかりやすい説明を求める。県が値上げをするから市も値上げすることだけでなく、理由をどう説明するか考えていただきたい。

以上